「夏の思い出」

阿見町総務部企画課統計係
吉田敏子

ふと，あたりの静寂を感じて，私は鉛筆とたわむれていた手をとめました。深夜，家人はみな寝てしまい，起きているのは私だけなのです。「アアッ……ええっと……さて，どうしたものかしら？」何んのことはないのです。原稿が，うまらないのです。です，ます調に何んとか，ことばをひとつでも多くうめようと，のばしているのですがそれが，緊張のあまり，プツン・プツンきれてばかり，なかなか流れがわるく，つまってばかり，さきほどから，台所と部屋を何往復したことか。腹の虫もいつもと違って，ひときわ大きく，夜のしじまに伝わっています。「ああ～困ったもんだ」ふ～っと大きく深呼吸をして，思い切り両手をのばして，背すじをととのえ，目を下に向けてじっと原稿用紙とにらめっこ。私は立ち上がって，ガラス戸を開けました。すーっと冷たい夜の空気が流れ込んで，窓のカーテンがひらひらとなびいています。ひるまの暑さが，どこへやらふっとんでしまいました。ひるまの暑さをかき立てるように聞こえた虫の声が，夜は一段とその涼しさをそえるように思いました。見上げれば，円盤の厚みが細長く見えます。星の光がまるで雲のように，天の川がひときわ広く明るく見えています。天の川は高い空にかかっていて，じっとながめていると空の天井が，打ち抜けたかのように高く感じました。家の前が田んぼとあってか，田んぼをわたる風はなんとも，ここちよいのです。かすかな虫の声に耳を傾けていると，幼い頃の「夏の思い出」が，頭いっぱい広がりました。友達と水泳の帰り道，いさましい夏の夕立に出逢ったこと。〝あっ〟という間に，大粒の雨が大地をたたきつけ，その夕立がやんでいつの間にか空がケロリとしたように，晴れ渡り七色の虹が大空に！思わず感激。やさしい春の雨よりも，じめじめと降りつづく長雨よりも一瞬にして，壮快な夏の夕立が好きです。子供の頃畑でかじった，トマトの味が忘れられません。家が農家でトマトを出荷していたものですから，学校から帰ってすぐ畑に直行して，真っ赤に熟したトマトをもぎとって，スカートのはしでちょいと，ふきながら〝ガブッ〟と一気…一気，。丸かじり。あまり熟していると歯型がつくほど，実がしまっていて，とってもおいしいのです。思わず幸せ！今は，冬場でもトマトが手に入るけど，やっぱり真夏の露地トマトが最高に好きです。今は亡き祖母が，花好きでよく庭の片隅に季節の花がたえませんでした。私は中でも，夏を運んできてくれる〝ひまわり〟が好きです。よく２人して，身長ほどもあるような，ひまわりが台風でくびが，おれないように，ささえ柱をたててあげたことがなつかしいです。家の回りは子供が多く，夕食がすむとみんなで花火に夢中になり，パッと光ると，友達の丸顔が瞬間やみの中に浮びます。パンパンと鳴る音に耳をおさえて逃げる友達に笑い声。夕日の前に広がる田んぼで螢を，追いかけつかまえて，にぎったコブシの中で点滅するたびに指の間の皮膚が明るくすけて見えたとき〝ほっ〟としました。まさに夏の夜は，涼さと解放感にあると思います。まだ虫は鳴きつづけています。いかにも楽しそうです。

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は，平成２年５月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。
行政情報センター　本庁舎地下１階　TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所（者）
中央省庁関係	
労働力調査報告　平成２年２月分	総務庁
昭和63年産　農産物生産費調査報告 米及び麦類の生産費	〃
新時代の行政監察　行政監察制度研究会編	〃
昭和63年　薬事工業生産動態統計年報	厚生省
第65次農林水産省統計表　昭和63年～平成元年	農林水産省
昭和63年　食肉流通統計　平成2年3月	〃
昭和63年　生産農業所得統計	〃
ポケット農林水産統計　―平成２年版―	〃
図説農業白書　平成元年度	〃
最近における関東農業の動き(管内・都県別)	関東農政局
北海道・表東北・北関東港湾貨物の背後圏 昭和63年陸上出入貨物調査	運輸省
地域活性化ハンドブック	建設省
平成２年版　地方財政白書	自治省
茨城県関係	
〝もっと知りたい〟ふるさと茨城の自然	環境管理課
平成２年度　公共用水域の水質測定計画	公害対策課
茨城県市町村概況（平成２年度版）	地方課
市町村公共施設の現況　平成元年3月31日現在	〃
茨城県地域防災計画　平成2年3月	消防防災課
茨城県における国際交流の現況　1990年３月	国際交流課
茨城の地下水　保全と適正利用	水・土地対策課
平成元年度　水について考える「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県優秀作品集	〃
平成元年度　土地利用動向調査	〃
平成2年4月1日現在　茨城県の人口(年齢別)	統計課
第21回都道府県勢の展望　統計からみた茨城 ―基礎データ・主要指標―	〃
平成元年版　茨城県勢要覧	〃
第８次漁業センサス結果報告書	〃
茨城県社会生活統計指標 (地域別，市町村別個別指標値)	〃
平成元年度　市町村交通安全対策現況調	県民生活課
商工と労働（おもな施策のあらまし） 平成元年度版	商業振興課
平成２年度　事務事業概要	〃
鹿島臨海工業地帯造成に伴う農業対策事業の概要	農政企画課
豊かなむらづくり事業(後期対策)の手引 平成元年７月	〃
山村等振興事業の概要　平成2年3月	〃
平成元年度　建築・開発行政概要	建築指導課
県内市町村関係	
昭和60年度　市民所得	勝田市
宮脇遺跡（第II期）	阿見町教育委員会
―第２次伊奈町総合振興計画― 伊奈町基本構想 心のかよう誇れる郷土はばたく21世紀	伊奈町
都道府県関係	
第97回北海道統計書　平成２年版	北海道
昭和63年　住宅統計調査結果の概要	宮城県
栃木県統計年鑑　平成元年度版	栃木県
群馬県勢要覧　平成元年度版	群馬県
統計からみた埼玉県の地位　平成元年	埼玉県
社会指標からみた福井県　平成2年3月	福井県
昭和63年　工業統計調査結果報告	山梨県
平成元年長野県の人口 (毎月人口異動調査結果報告)	長野県
滋賀県刊行物目録　平成2年3月	滋賀県
大阪市勢要覧　平成元年度版	大阪市
平成元年度　奈良県統計年鑑	奈良県
昭和62年度　県民所得統計書(新SNA方式)	高知県
平成元年　熊本県統計年鑑	熊本県
公社・会社・団体等関係	
林業白書　―平成元年度―	(社)日本林業協会
平成元年　経済統計年報 1989	日本銀行調査統計局
行財政レポート 都道府県版　平成2年1～3	(社)地方行財政調査会

経済動向

国内の動き

●景気拡大「岩戸」に並ぶ 投資から消費へリード役交代

1986年末から続いている日本の景気拡大は5月で連続42ヵ月目を迎え，戦後2番目に長い「岩戸景気」と並ぶ。円高不況を克服して始まった今回の景気はこれまで主として民間設備投資をリード役に拡大してきたが，ここにきて個人消費主導型へと変わってきた。4～6月には実質経済成長への寄与度で，個人消費が設備投資を上回る見込み。主役の交代で景気持続の条件が一層整い，戦後最長の「いざなぎ景気」(57ヵ月)への挑戦が可能になるという見方も出ている。(5月2日付 日経)

●89年度国際収支 経常黒字30.8%減

大蔵省が発表した89年度(平成元年度)の国際収支統計(速報)によると経常黒字は534億9700万ドルとなり，前年度に比べて30.8%減少した。自動車，鉄鋼などの輸出減や原油，事務用機器などの輸入増で貿易黒字が前年度比26.4%減の701億7800万ドルと大幅に減ったことが主因。政府見通しの610億ドルを下回り，国民総生産(GNP)に対する比率は1.9%と82年以来7年ぶりで2%を割った。また3月の経常黒字は81億3300万ドル，前年同月比29.0%増と13ヵ月ぶりに増加に転じた。(5月3日付 日経)

●給与・雇用，高い伸び 89年度毎月勤労統計

労働省が発表した1989年度の毎月勤労統計調査(速報)によると，好景気を反映して現金給与総額は前年度比4.9%増，季節工や日雇いでない常用雇用指数は2.8%増加した。給与は81年度以来8年ぶりの高い伸び，雇用者の伸びは71年度に現在の対象で調査を始めてから最高の水準だった。一方で年間の総実労働時間は2,076時間と，前年度より24時間減少した。週休2日制の普及で出勤日数は年間約3日減ったが，好況で仕事量が増えているため，所定外(残業)労働時間は横ばいで高止まりしている。(5月3日付 日経)

県内の動き

●職・住・遊・学の調和 新県計画の基本構想大要

平成3年度からスタートする新たな県計画の骨子となる「新県計画基本構想大要」がまとまり，県総合開発審議会で報告された。大要では，今後の基本目標を「21世紀を開く創造性豊かな茨城づくり」とした上で，職・住・遊・学が融合した質の高い生活の実現，港湾や高速交通体系の整備に伴うアジア・太平洋地域の交流拠点などの新機軸を打ち出している。また，高齢化社会を迎えて安心して暮らせる福祉社会や良好な自然の確保など，生活環境面に重点を置いたのも特徴。この大要に基づき，今後，基本計画や地域ごとの施策などが検討され，今秋には新たな県計画がまとまる予定だ。(5月30日付 いはらき)

●「4000万円以上」51.6%増 法人昨年申告所得

帝国データバンク水戸支店がまとめた平成元年の茨城県内高額法人申告所得集計結果によると，年間申告所得が4000万円以上の法人は1,211社で，前年より412社(51.6%)増加した。申告所得も2586億5798万円で675億4842万円(35.3%)増となり，景気の好調さを裏付けた。社数では内需拡大による建設ラッシュを背景に，建設業が162社と前年(78社)の2倍となったほか，地価上昇により不動産業も77社(前年37社)と急増した。このほか，活発な個人消費により卸売業，小売業の増加が目立った。(5月9日付 日経)